

# 令和6年度 江戸川区立一之江第二小学校 学校経営方針

江戸川区立一之江第二小学校長 木村紀朗

## 「人権尊重教育の推進」

人権尊重の精神を育成することは、一之江第二小学校だけでなく、東京都、江戸川区の教育目標基本方針で挙げられるほど重要な課題です。子供たち一人一人が人権を尊重する気持ちをもっていけばいじめやいたづら、嫌がらせは起きません。また私たち教員が相手の人権を尊重する気持ちをもっていけば体罰や不適切な指導、パワハラやセクハラも起きません。

サービス事故0は最低基準です。今後も保護者地域から信頼される学校を作っていくためにサービス事故0を継続していきましょう。

## 1.江戸川区教育委員会の教育目標

こころ豊かに たくましく 教育の江戸川区

- 自他を尊重し、人間性豊かで道徳心のある人
- 自ら学び実践し、ともに教えあい、育ちあう、個性や想像力豊かな人
- 将来の夢をもち、持てる力を発揮して、進んで社会に貢献できる人

## 2.一之江第二小学校の教育目標

- ◎よく考え、進んで学習する子ども（重点目標）
- 思いやりがあり、助け合う子ども
- 体力のある、元気な子ども

## 3.「笑顔あふれる学校」＝「子供たちが登校したい学校、保護者が子供を通わせたい学校、教職員が働きたい学校」づくりのための4本の柱

### ◇児童を大切にする。

- ・「認め・励まし・高め合う学級経営」をとおして自己肯定感をもたせる。
- ・個々の児童をしっかりと見つめその声に耳を傾け、寄り添った言葉かけをする。
- ・よさや頑張りを認め、称賛の言葉かけをする。
- ・人権教育を尊重し、自他の大切さを認める。
- ・保護者相談日（希望制）を設置し、保護者と担任と情報を共有し、児童理解に努める。
- ・一部教科担任制（3年生以上）、副担任制をとおして、多くの目で児童を見守る。

### ◇授業を大切にする。

- ・「つかむ」（問題把握）「考える」（自力解決）「広げる」（学び合い）「まとめる」（考察・結論）「振り返る」（自己評価）を基本とした授業スタイルの定着を図る。（ESDの観点から）
- ・「学校は知識を与えるところではない。学び方を教えるところである。」の理念で「主体的・対話的で深い学び」となるような授業改善を図る。
- ・児童の「できた」「分かった」の喜びの音が聞こえる授業を目指す。

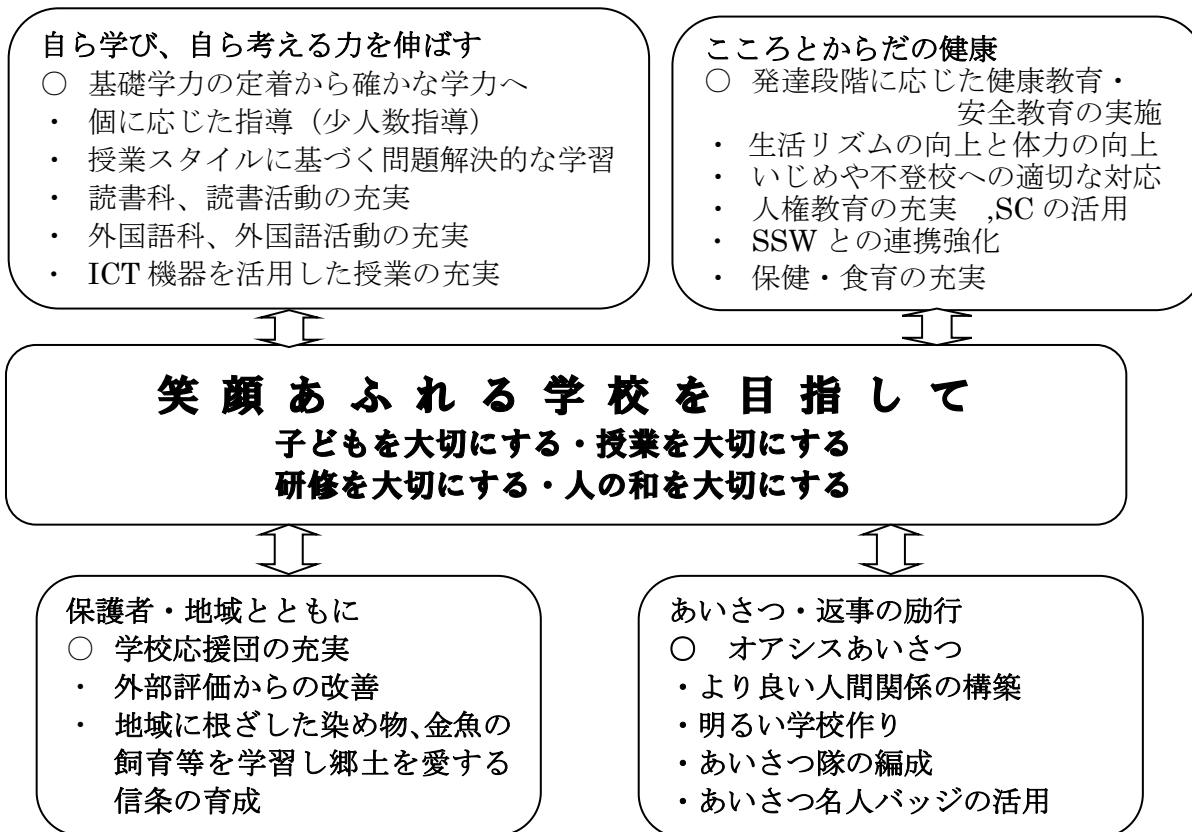
## ◇研修を大切にする。

- ・「教師は授業で勝負する」を信念とし、授業力の向上に努める。校内研究を「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～体育科の指導を通して～」で実施し、教員の授業力の向上を図る。
- ・自主研修を積極的に行う。特に、本校が初任校の教師を対象に若手研修組織を発足する。副校長・主幹・主任教諭を中心に全校の教員で組織的・計画的に若手の教師力向上に取り組む。

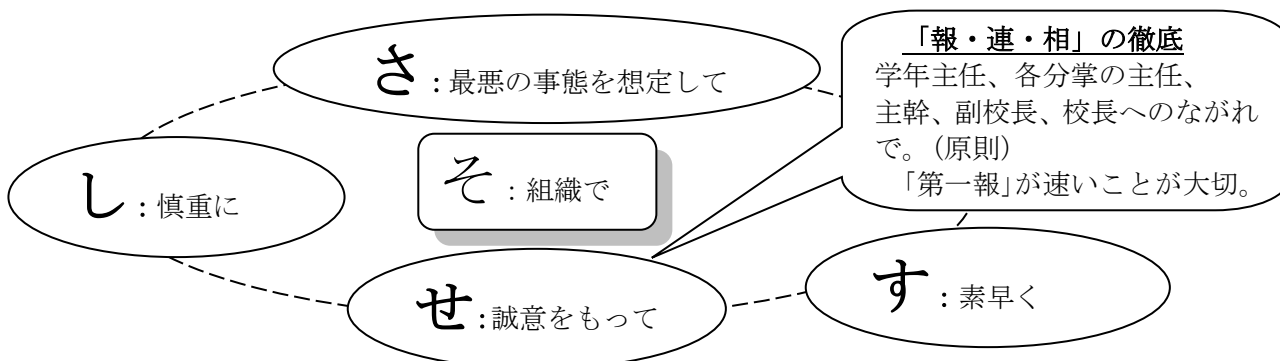
## ◇人の和を大切にする。

- ・「教育は人なり」教育は人と人との信頼から始まる。
- ・良好な人間関係は挨拶から始まる。
- ・働きやすい環境づくりは、コミュニケーションから始まる。
- ・充実した教育活動は、組織力で決まる。英知を結集した「チーム二小」

## 4. 目指す学校像



## 5. 危機意識をもつての対応を心がける（危機対応のさ・し・す・せ・そ）



## 6. 安全で美しい学校にするために

- ・花や緑、金魚の飼育など、自然環境と校内環境の整備と活用を図り、「安全・安心な学校」「1年中花が咲いている学校」を目指す。
- ・生命の大切さを育む教育と事故防止を図る安全指導を徹底する。
- ・「全教職員で子どもを見守る」ことを第一義に、子供たちの安全・健康な学校生活を築く。
- ・危機管理意識を常にもち、予見可能な範囲で、日常の健康・安全、防災指導の徹底に努める。
- ・施設、設備の安全点検や迅速修理に努め、安全・活用・美観を保つ。
- ・物品の整理整頓に努め、学校の美化に全員であたる。
- ・アイデアを生かし廊下の掲示や資料・教具室、特別教室の効果的な活用を図る。
- ・SDGsを推奨していくためにも、校内のペーパーレス化を図る。